
フフ猫連の恐怖

水色ペンキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フフ猫連の恐怖

【Zコード】

N2172E

【作者名】

水色ペンキ

【あらすじ】

2015年秋、ある非常識な政党が日本政界に打って出た。それに対抗した人々の活躍？と、嵐が収まるまでの顛末。

(前書き)

大変短いお話です。お耳汚しにひとつ。

2015年秋、それまで沈黙を守っていたACFF（Alliance of Cat Fundamentalists and Fascists、フフ猫連）がついに政界に打って出た。彼らは人間のそれに準ずる基本的猫権、および猫の参政権（飼い主が代行できる）を求めて烈火の如く両院を荒らしまわった。ばかげた話ではあるが、知識人や政治家、財界人のなかにも多数これに倣うものが出て。これをして現代日本の恥といつても誰も異論を挟むまい。文壇も例外ではなかつた。大御所といわれる某を始め、犬を打つても猫打つな式の暴論がまかり通り、日本の明日は誰の目にも風前のもとし火かと思われた。いや、文壇はあまり関係なさそうだ。

しかし反猫派も黙つてはいなかつた。犬党を中心に猫を共通の敵とする野鳥の会、ハト派、タ力派、耳の大きい鼠愛好者、釣り人、ハムスターをこよなく愛する人々などが一つの旗の下に結集し、意外なことには猫極右であるうちの猫以外は駄目な子派までを取り込んで、翌春には日本を二つに割る大混乱となつたのである。

そんな折り、NAISTからある画期的な研究成果が発表された。動物を巨大化させる新ホルモンの発見である。両派とも我先にとこれに飛びつき、生き神様、御神体と銘打つてともに大犬と大猫を作りあげた。倫理もへつたくれもない。いわんや政教分離をや。とにかくなるものはなつたのである。お互いに人倫を越えたシンボルを祭り上げたことで、いよいよ骨魚を争う平成の関ヶ原が現出するかと思われた、が

一夜にして猫派は壊滅した。人より大きくなつた犬はなお人の友でありえたが、猫にそんなことを期待してはいけないのである。それはまさに報道が不可能といえるほどの大惨事であった。愛犬家万歳。愛鳥家万歳。我々は勝利したのだ。

だが忘れてはいけない。ACFFは決して滅びることのない団

体なのだ。ほら、あなたの嫁、親、友人、同僚、心当たりはないか。
。気をつけなさい、彼らはいつまた牙を剥くか分からないのである。

(この文章はあくまでひとつのお話であり、作者の意見を代弁する
ものではありません。ほんと)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2172e/>

フフ猫連の恐怖

2010年10月24日02時00分発行